

学修コンシェルジュJr.

現役大学院生による 大学院学修生活の体験談

目次

伏見 涼（修士課程2年）	2
・私の修士課程1年目の1年間	
・新入生のみなさんに伝えたいこと	
宇野 渚（修士課程2年）	4
・修士課程1年半の主なスケジュール	
・意識しておくと思うこと	
篠田 泰成（博士後期課程3年）	6
・私の修士課程2年間	
・D1の時にやっておいてよかったこと	
・博士課程に進学して感じたこと	

私の修士課程1年目の1年間

※2021年4月入学

伏見・物質理工学院応用化学系応用化学コース・M2 学生支援センター学修コンシェルジュJr.

Month

2021

Month

- 4
 - ・他大学から入学
 - ・研究室での**孤独感**に悩む
 - ・学部の卒論テーマから研究テーマが決定
- 5
 - ・**オンライン**講義や**オンライン**ゼミに戸惑う
- 6
 - ・実験開始
- 7
 - ・夏インターンに応募する
- 8
 - ・**業種問わず**多数の合同説明会に参加し、自分がやりたいことをじっくり考える
- 9
 - ・某自動車メーカーの夏インターンに参加し、化学系よりも**自動車**に興味を持つ

- 10
 - ・**学修コンシェルジュjr**に入り、人とのつながりを作った
- 11
 - ・**学生相談室**を利用し、悩みを打ち明ける
- 12
 - ・**博士進学**へ未練を持つがあきらめる

2022

- 1
 - ・講義＋研究＋就活の3点セットに苦しめられる
- 2
 - ・講義の単位を**全て**取って一安心あとは研究と就活だ
- 3
 - ・**学校推薦**で大手自動車メーカーへの就職を狙う

新入生みなさんに伝えたいこと

伏見・物質理工学院応用化学系応用化学コース・M2 学生支援センター学修コンシェルジュJr.

①視野を広げよう（就活）

- ・研究室にこもると良くも悪くも同じような**専門性**の人ばかりがいるので、**視野がせまくなる**傾向がある
- ・自分の専門性、研究テーマに**囚われすぎず**、いろいろな企業を見てみよう
- ・1つの分野を突き詰めて**本質**がわかると、**他の分野**でもやっていける

②辛いときは一人で悩まず東工大の**相談機関**を使おう

- ・電話相談デスク
- ・ピアサポート（学生に相談）
- ・学修コンシェルジュ
- ・学生相談室（予約制）

③研究を通して**社会で役立つ能力**を身に付けられる

- ・主体的に考え、計画し、行動する力（研究計画）
- ・ディスカッション力（ゼミ）
- ・プレゼン力（研究発表）
- ・コミュニケーション力（研究を進めるための学内外の人との関わり）
- ・自分の専門分野をかみ砕いて話す力（ゼミ、研究発表）

修士課程1年半の主なスケジュール（宇野）

※2020年10月入学

年/月		研究関係	就活関係
2020 /10～12	3Q	- 研究テーマ決定 - 先輩の引継ぎ作業 - 共同研究先への挨拶	- 経産省に興味 - 国家公務員試験勉強開始
2021 /1～3	4Q	- 研究が自立 - 共同研究先への年度末報告	ずっと公務員試験勉強
2021 /4～6	1Q	機材改良などオリジナリティ追求	- 国家総合職試験→合格 - 国家公務員就活
2021 /7～9	2Q	- 実験の壁にぶつかる, 以後試行錯誤 - 修論中間発表→優秀発表賞受賞	- 自己分析・企業探し - 夏インターン参加
2021 /10～12	3Q	- 研究出張 - 実験はずっと試行錯誤	- 自己分析やり直し - 企業探し
2022 /1～3	4Q	- 実験の壁を越える→修論に向け加速 - 共同研究先への年度末報告	- 冬インターン参加 - 早期選考開始（自由応募） - 第一志望企業内々定獲得

意識しておくの良いと思うこと（宇野）

研究と就活の両立をする

- 説明会/インターン参加は大切だが、やみくもに行っても有意義な時間にはなりにくい
- 参加前に確かめたい仮説（目的意識）を自分なりに持っておく
- 仮説を立てるためには自己分析・企業研究が欠かせない
- 推薦応募に頼りきりは危険！「どんな働き方/人生に幸せを感じるのか」を考える機会とするためにも就活はした方が良いと思う
- 自分の中で良いと思える企業から内定をいただけたら切り替えて研究活動に戻る、青い鳥症候群に注意

研究活動に自信を持つ

- 東工大は研究することが当たり前の環境→その価値に気づきにくい
- 研究分野に関する専門知識以外にも例えば以下のスキルが知らないうちに身についている
 - ・プレゼン能力
 - ・課題発見力と解決力
 - ・タスク処理能力
- これらを試す機会としてインターンを利用するのもありだと思う

私の修士課程2年間（篠田）

篠田・物質理工学院 応用化学系 原子核工学コースD3 学修コンシェルジュJr.

※東工大以外の大学から修士課程に進学、2018年4月入学、2020年3月修了

2018年				M1				2019年			
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入学 オリエンテーション 留学相談 先生やテーマによっては許可が下りない場合がある。早めに意思表示	GW前に研究テーマ決定 ES書く 6月は授業課題で忙しいので早めに書いておく	期末試験・レポート	研究に集中 8月は授業課題で忙しい	期末試験・レポート	インターン 研究 授業がなく、M2が忙しくなる前に教えてもらう		期末試験・レポート ToTAL 選抜試験	M2が修論の追い込み実験をやっていたので、ほとんどマシなタイムがとれなかった。	インターン 就職と進学で迷っていた時期	期末試験・レポート インターン	進学決定 就活修了

				M2				2020年			
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
DC1書き始める	前半はほとんどの時間をDC1に使う	期末試験・レポート		期末試験・レポート ToTALの授業も履修しないといけなかったため、この時期でも授業で忙しかった	中間発表 外国語事務室TA開始 研究 授業がないうちに修論のデータとる	学修コンシェルジュJr.TA開始 ↑ 学年問わず募集中です。ぜひ、検討してみてください！！	修論書き始める。 後々、データが足りなくなるので早めに目次など作る	進学願書出願 内部進学は驚くほど手続きが少なく、情報も開示が遅いので自分で情報収集	修論提出 提出ギリギリまで実験をしていた。。	修論発表 コロナの感染拡大始まる 提出物のめ切に気を付ける	進学試験合格 進学手続き 卒業式

D1の時にやっておいてよかったこと

篠田・物質理工学院 応用化学系 原子核工学コース D3 学修コンシェルジュJr.

※博士課程、2020年4月入学、2023年3月修了予定

・入学時の学修案内を確実に理解

自分の卒業要件（単位、論文数、TOEICスコアなども）を知らなければ3年間の計画が立てられない。博士の授業は隔年開催が多いので計画的に

・研究室以外の居場所をたくさん作る

同期がほとんど卒業し、交流が少なくなるため視野が狭まる
ToTALや卓越などお勧め、学修コンシェルジュJr.のTA活動もいい刺激

・後輩指導

研究室の他のテーマを研究してる後輩を手伝う、知識の引き出しが広がる
指導や議論を繰り返すことでコミュ力や巻き込み力が培われる

・良い習慣づくり

運動、読書、リフレッシュなど。アイデアが出てきたら直ぐメモ、調査

・学内の学習プログラムやイベントをうまく活用

大学から提供されている機会を積極的に活かす
セミナーイベントで論文の執筆方法やプログラミングなどを学んだ

博士課程に進学して感じたこと

篠田・物質理工学院 応用化学系 原子核工学コース D3 学修コンシェルジュJr.

※博士課程、2020年4月入学、2023年3月修了予定

・好きなだけ学び続けられる

自由時間が多く、学生の特権を活かして行動の幅を広げられる
1つのことに集中し、極めることができる唯一の期間
自主的に様々なことを勉強できる時間も増えた

・友達が多い方がいい

孤独感を感じやすいが、積極的に交流の機会を持つと割と寂しくない
切磋琢磨できる仲間がいれば努力できる（絶対そう思う。）

・世界規模で様々なことにチャレンジできる

国際学会、留学、インターン…学生の時しか経験できない
東工大のプログラムを上手く活用すればチャンスが広がる

・就職活動は茨の道...ではなかった（B3, M1より早めに動く必要あり）

最速でD2の8月から製薬業界、10月から化学メーカーの本選考が開始
博士選考はES作成や面接対策に時間が取られにくく研究に専念しやすい
民間企業だと通年採用の配慮あり、公務員も博士卒を積極採用している